

こんにちは、 岐教事です！ ※付録つき

岐阜教育事務所だより
8月号 (No. 4)
平成27年8月20日発行

岩手県中学生の自殺の問題では、担任の先生の生活記録ノートへの記載や、校内の情報連携の在り方が大きく話題となっています。これを機に、生活ノートについて、考えてみましょう。

岐阜地区の多くの先生方が、生活記録ノートや個人日記等（以下、「生活記録ノート」と表記）について、休み時間や給食の時間、空いた時間等を有効に使って、丁寧に読み、朱書きを入れ、指導に生かしています。学校で活用している「生活記録ノート」には、どんな意義があるのでしょうか。

Q：「生活記録ノート」には、どんな意味があるのですか？



A：少なくとも次の5つの素晴らしい意味があります。

- 1 見通しをもって計画的に生活する力を育みます。【計画性の育成】
- 2 自分や仲間等の生活を見つめ、それに対する自分の考えや思いを確認し、表現する力を育みます。【思考力・判断力・表現力の育成】
- 3 児童生徒のものの見方や考え方等を把握します。【子どもづかみ】
- 4 児童生徒とコミュニケーションを図るきっかけとします。【心の架け橋】
- 5 価値ある思いや考え方を把握し、学級等に広めることで、一人一人が自分の生き方を考えるきっかけづくりができます。【価値観の向上】

※詳しくは、付録の【1. 「生活記録ノート」のもつ意味】を参照してくださいね。

Q：「生活記録ノート」を有効活用するポイントがありますか？

A：もちろん、あります。

児童生徒は、学校や家庭、地域で様々な人との関係の中で生活しており、そこで生じる悩みや、自分の進路、性格、生き方に関する悩み等、様々な悩みを抱きます。その悩みを生活ノートにはっきりとは書かなくても、そのサインが文面に現れることは多々あります。

「生活記録ノート」からサインを感知し、適切な対応につなげていくための万能な正解はありませんが、気を配るべきポイントがあります。そんなポイントを別冊の付録にしてみました。ぜひ参考にしてみてください。

この付録が、皆さんの手で児童生徒の幸せを育む一助になることを願っています。

